（別紙4（2））

事業所名：グループホーム悠祐

作成日：　令和　5　　年　12　　月　4　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍により外部とのつながりが途絶え、慰問やボランティア受け入れを中止せざるを得なかった。現在もまだまだ感染症の脅威により、完全な再開には至っていない。	地域資源を大切にし、ボランティア受け入れや慰問の再開を行っていく。	面会などは再開しているが、感染状況を見ながら徐々に法人と話し合いボランティア受け入れ慰問の再開を行っていく。運営推進会議等にて自治会長や民生委員の方に地域の方で退職後手持ちぶさたにされている方、施設内で働こうと思っておられる方が（調理や見守り）いないか確認し地域資源の活用と共に開けた施設運営を行っていく。	12ヶ月
2	33	コロナ禍にて、他施設見学が行えなかった。以前の情報とは、かなり変わった施設も多くある。現在入居されている方も介護度が高くなり、特別養護老人ホーム等の話をご家族とする事があるので、本人様にあった施設を紹介できているのかと思う事もある。	以前の様に特別養護老人ホーム等を見学させてもらい、施設の強みや弱みを知り、ご家族様に伝えられる様にする。	特別養護老人ホーム等にあいさつに行き、関係性の再構築を行う。今後の不安を抱えられているご家族様と施設見学を行い、ご家族様の不安が軽減する様に努める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。